















患者さんパスシート

カナ氏名
氏名
患者ID
担当医

様

適用開始日
適用予定日数
パス名
コメント

10日
川崎病1stIVIG+PSLパス

日付	/	/	/	/ ~ /	/ ~ /	/
経過	治療開始日	治療1日後	治療2日後	(追加治療が必要な場合)	有効判断～退院まで	退院～外来
目標	点滴や内服が確実にできるようにしましょう					不安無く退院できるようにしましょう
処方	アスピリンというお薬(症例によってはフロベンというお薬)を1日3回内服します。 ※血液を固まらせにくくするお薬ですので、ベッドからの転落などのケガに注意しましょう				1日1回内服に減量します	2-3ヶ月内服を継続します 再発熱時にご連絡ください
注射	 ガンマグロブリン製剤と水分・糖分補充の点滴を行います	 ガンマグロブリン終了後も経口摂取回復までの間、水分・糖分補充の点滴を継続します	 ガンマグロブリン再投与や、ステロイドやレミケードという薬剤を用います。主治医より説明があります	点滴治療は終了です		
検査	 血液検査を行います	 解熱の様子や入院時の血液検査との比較で初回治療の有効/無効を判断します	 解熱の様子や前回の血液検査との比較で追加治療の有効/無効を判断します。	退院までに何度か血液検査を行います。病気の「くすぶり」がないかを判断します		必要に応じて退院後にも血液検査を行う場合があります
生理検査	心電図モニターを装着しますが、随時、心臓の超音波検査や心電図検査を行います				 	概ね外来受診ごとに心臓超音波検査を行います
指導	 主治医より治療スケジュールの概要、退院後の自宅での生活での注意点、ワクチン接種への影響などについて随時説明があります	師・栄養士から説明があります		 	 退院の説明があります	
安静・清潔	 	身体を拭くことができます。医師からの許可があればシャワーに入れます				
トイレ	点滴が無くなるまで、尿量を測定していただきます					制限はありません
食事	特に食事の制限などはありません。食事形態の希望や食物アレルギーのある場合はお知らせください					
その他	点滴が血管外に漏れると組織の損傷を起こすことがあります。点滴挿入部の腫れや痛みがある場合はお知らせください。通常は大部屋管理ですが、合併感染によっては個室隔離となることがあります。					

ご不明な点・お気づきの点がございましたら、ご遠慮なく看護師におたずねください。

※この表はおおよその経過をお知らせするものです。状態により変更することもありますので、あらかじめご承知おきください。

静岡市立静岡病院